

IX 家畜衛生

IX 家畜衛生

1. 概要

本県の家畜衛生は、家畜保健衛生所法により設置されている中央家畜保健衛生所、北部家畜保健衛生所（北部農林水産振興センター家畜保健衛生課）、宮古家畜保健衛生所（宮古農林水産振興センター家畜保健衛生課）、八重山家畜保健衛生所（八重山農林水産振興センター家畜保健衛生課）の4つの家畜保健衛生所と、家畜衛生試験場が連携して、防疫衛生業務等を推進している。

家畜保健衛生所は、家畜衛生技術の指導・普及、家畜疾病の疫学調査・検査、発生予防・まん延防止等を実施している。一方、家畜衛生試験場は、病性鑑定業務や疾病対策のための試験研究、本県独特の疾病の試験研究を実施している。

近年の国内外における家畜衛生をめぐる情勢として、口蹄疫は平成22年4月に宮崎県で10年ぶり2回目となる発生があり甚大な被害をもたらした。それ以降国内での発生はないが、台湾、フィリピンを除くアジア地域では、継続して発生が確認されており、国内への侵入リスクは高い状態である。高病原性鳥インフルエンザは、ここ数年継続的に発生している。国内における発生は、令和2年度18県52事例、令和3年度12県25事例、令和4年度26道県84事例、令和5年度は10県11事例と過去に類を見ない発生があり、かつ世界的な発生状況を鑑みても令和6年度の国内への侵入リスクは高い状態である。

アフリカ豚熱はアジア諸国で感染が拡大している状況であり、特に韓国釜山において野生いのししでのまん延が確認されている。釜山からは定期航路がありインバウンドの増加に伴い国内へのウイルス侵入防止対策が喫緊の課題である。

近年の県内における特定家畜伝染病は豚熱と高病原性鳥インフルエンザがある。豚熱は令和2年1月8日に本県では33年ぶりとなる発生が確認された。うるま市、沖縄市において7事例発生し、疫学関連3農場を含め10農場で殺処分等の防疫措置が行われ、12,381頭の豚が殺処分された。県内の野生イノシシでは本病のウイルスは確認されておらず、養豚場での発生は限局的であった。豚熱の防疫対策の強化として豚熱ワクチン接種、飼養衛生管理基準の遵守強化に取り組んでいるところである。高病原性鳥インフルエンザは令和4年12月16日に県内初となる発生があった。約4万5千羽が防疫措置の対象となり殺処分や農場の消毒が行われた。関係機関の協力もあり、速やかに収束する事ができ、周辺の養鶏場への感染拡大は無かった。

県内での豚熱や高病原性鳥インフルエンザの発生、家畜伝染病予防法等の改正を踏まえ、対策本部・各地域現地対策本部の設置に関する規定、特定家畜伝染病危機管理対策会議設置要綱を見直し、危機管理体制の整備を図るとともに、防疫演習や講習会等を実施して、体制の確認・強化を図る。

今後とも、これらの疾病のみならず、本県における新興・再興感染症の発生及び慢性疾病や複合感染症に対し、発生予防・まん延防止対策や食の安全・安心確保のため、家畜伝染病予防事業、家畜衛生対策事業等を活用し、関係機関と連携して取り組んでいく。

2. 家畜防疫状況（令和5年）

（1）検査実施状況

事業名	家畜の種類	検査頭数		検査の結果		実施時期	摘要
		実頭数	延頭数	患者	疑似患者		
精 密 検 査	B S E	434	434	0	0	434	ELISA 法
	結核	5	5	0	0	5	ツベルクリン皮内反応
	ブルセラ症	24	24	0	0	24	急速凝集反応
	*牛流行熱等追跡調査 (抗体)	85	321	35	0	348	中和試験
	*牛伝染性リンパ腫	1,527	1,528	220	0		抗体検査
	*ヨ一ネ病	1,041	1,041	0	72	969	ELISA 法
	*豚熱	3,346	3,346	2,767	182	341	中和試験、ELISA 法 R1.3～豚熱ワクチン接種開始
	*オオエスキュー病	1,492	2,495	0	0	2,485	ラテックス凝集反応、中和試験
	*ニューカッスル病	610	610	0	0	76	HI 検査
	家きんサルモネラ症	240	240	0	0	240	種鶏 急速凝集反応
	高病原性鳥インフルエンザ	2,820	2,820	0	0	1,380	血清抗体検査、ウイルス分離
	腐蛆病	1,647	1,647	0	0	1,647	細菌検査

*は抗体検査成績（患者：陽性，疑似患者：疑陽性）

事業名	家畜の種類	検査頭数		検査の種別	検査の結果				実施時期	摘要
		実頭数	延頭数		疾病名	患者	疑似患者	健康		
牛伝染性疾病検査	牛	72,432	295,908	B	3	1	256,380	1月～12月		
				S						
				E						
				蹄疫						
				子牛下痢症						
豚伝染性疾病検査	豚	177,619	482,332	皮膚真菌症	0	0	476,644	1月～12月		
				ピントクアイ						
				熱						
				口蹄疫						
鶏伝染性疾病検査	鶏	2,025,100	12,935,798	下痢症	2	42,891	11,045,868	1月～12月		
				大腸菌症						
				異常産炎						
				肺						
				滲出性表皮炎						
				高病原性鳥インフルエンザ						
				マレック病						
伝染性コリネバ										
コクシジウム症										
ブドウ球菌症										
I	B	D								

臨床検査

(2) 注射実施事業

事業名	区分	種類	注射回数						注射の反応				実施期間	摘要	
			第1回	第2回	第3回	計	死亡	流死産	重症	軽症					
牛流行熱・イバラキ病 混合不活化ワクチン	予	牛	277	229	0	506	0	0	0	0	0	0	0	1月～12月	
牛異常産3種混合不活 化ワクチン	予	牛	1,297	424	0	1,721	0	0	0	0	0	0	0	"	
アカバネ病	予	牛	289	0	0	289	0	0	0	0	0	0	0	"	生ワクチン
牛流行熱	予	牛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	"	不活化
豚熱	予	豚	237,289	34		237,323	0	0	0	0	0	0	0	"	生ワクチン
ニューカッスル病	予	鶏	760	0	0	760	0	0	0	0	0	0	0	"	不活化

(3) 薬浴(投薬)実施状況

事業名	区分	家畜の種類	実施回数				薬浴(投薬)の反応				実施期間	摘要	
			実回数	延回数	死亡	重症	流死産	重症	軽症				
ダニ駆除	投	牛	202	202	0	0	0	0	0	0	0	"	フルメトリン製剤

3. 家畜伝染病発生状況

年	病名	アナプラズマ症	ピロプラズマ症	豚	熱	ヨーネ病	結核	流行性脳炎 (豚)	ニューカッスル病	ひな白痢
	H22					2				
	H23					6				
	H24					2		15		
	H25					1				
	H26							2		
	H27					1				
	H28									
	H29									
	H30					2				
	H31 (R1)					2				
	R2			16						
	R3					7				
	R4									
	R5									

4. 牧野ダニ侵入防止対策事業

(1) ダニ侵入防止対策会議の開催

(令和5年度)

開催回数	参集範囲	参加延べ人数	備考
技術検討会 1回	国, 県, 家保, 有識者等	23人	対面開催

(2) ダニ監視体制強化の整備

(令和5年度)

区分	対象地域	回数 または 頭数
草地ダニ検査	八重山地域	70回
	宮古地域	6回
牛体ダニ検査	八重山地域	3,032頭
	宮古地域	117頭
血液原虫検査	八重山地域 (バベシア及び ピロプラズマ清浄性 確認検査)	400頭
	県内全域 (県外導入牛検査)	157頭

5. オウシマダニ撲滅達成状況

令和6年3月現在

地 域 名	撲 滅 達 成 年 度
伊 是 名 島	昭和56年度
伊 平 屋 島	60
多 良 間 島	61
北 大 東 島	61
伊 良 部 島	61
黒 島	平成2年度
竹 富 島	3
鳩 間 島	3
小 浜 島	4
波 照 間 島	4
与 那 国 島	5
西 表 島	6
石 垣 島	8
内 離 島	8
外 離 島	8

(撲滅達成)：ダニ駆除又は牛処分終了後、最低1年以上オウシマダニが全く確認出来ない状態を撲滅達成とした。

6. 家畜伝染病に係る沖縄県対策本部設置要綱、要領等

伝染病名	要綱、要領等	策定年月日 (最終改正日)
特定家畜伝染病	沖縄県特定家畜伝染病危機管理対策会議設置要綱	平成24年5月16日 (令和5年5月10日)
	沖縄県特定家畜伝染病防疫対策本部設置要綱	令和2年1月7日 (令和6年5月31日)
高病原性鳥インフルエンザ(法)	沖縄県高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザ防疫対応マニュアル	平成29年9月9日 (令和3年3月18日)
口蹄疫(法)	沖縄県口蹄疫防疫方針	平成22年6月16日 (平成26年6月30日)
	沖縄県口蹄疫侵入防止対策ガイドライン	平成22年7月1日 (平成26年6月30日)
	沖縄県口蹄疫防疫対策マニュアル	平成22年6月17日 (平成31年3月19日) H31.3名称変更
	家畜市場口蹄疫侵入防止対策方針	平成22年6月1日
牛海綿状脳症(BSE)(法)	沖縄県牛海綿状脳症(BSE)対策本部設置要綱	平成13年10月17日 (平成26年6月30日)
ヨーネ病(法)	沖縄県牛ヨーネ病防疫対策実施要領	平成14年10月4日 (令和4年4月1日)
豚熱(法)	沖縄県豚コレラ防疫対策要領	平成13年2月13日
	沖縄県豚熱防疫対策マニュアル	令和4年6月20日
オースキー病(届)	沖縄県オースキー病防疫対策実施要領	平成3年8月30日 (平成30年3月28日)
	県外導入豚着地検査実施要領	平成12年11月1日 (平成30年3月28日)
	沖縄県オースキー病防疫協議会会則	平成3年9月24日 (平成30年12月3日)
	沖縄県オースキー病防疫協議会細則	平成4年6月12日 (平成30年12月3日)
出先機関	北部地域特定家畜伝染病防疫対策本部設置要綱	平成22年5月27日 (令和3年7月12日)
	中南部地域特定家畜伝染病防疫対策本部設置要綱	平成26年12月27日 (令和3年1月20日)
	宮古地域特定家畜伝染病対策本部設置要綱	平成22年6月1日 (平成30年6月4日)
	八重山地域特定家畜伝染病防疫対策本部設置要綱	平成19年3月12日 (令和2年12月24日)

注意:(法)家畜伝染病、(届)届出伝染病

7. 令和5年度沖縄県特定家畜伝染病防疫演習について

口蹄疫や鳥インフルエンザの侵入防止対策の強化と実効性ある迅速な初動防疫態勢および発生時のウイルス拡散防止対策技術を訓練する目的で、関係各課および関係団体のご理解とご協力の下、4つの地区において机上演習及び関係機関団体参加型の実働演習を開催した。

【北部家畜保健衛生所】

- 特定家畜伝染病発生時における消毒ポイント演習（令和5年9月29日）
 - ◇ 参加者：市町村
 - ◇ テーマ：特定家畜伝染病発生時における消毒ポイントでの作業確認
- 特定家畜伝染病防疫資材搬出実働演習（令和5年10月19日）
 - ◇ 参加者：県機関
 - ◇ テーマ：特定家畜伝染病発生時における防疫資材搬出の円滑化



【中央家畜保健衛生所】

- 特定家畜伝染病発生時における防疫演習（令和5年9月20日）
 - ◇ 参加者：県機関、市町村、畜産関係団体、防疫協定団体
 - ◇ テーマ：特定家畜伝染病発生時における集合施設の設置運営及び資材搬出
- 特定家畜伝染病発生時におけるガスボンベの取り扱いにかかる防疫演習（令和5年12月15日）
 - ◇ 参加者：県機関、防疫協定団体
 - ◇ テーマ：特定家畜伝染病発生時の移動・搬出にかかるガスボンベの安全な取り扱い



【宮古家畜保健衛生所】

■ 高病原性鳥インフルエンザ防疫演習（令和5年12月13日）

- ◇ 参加者：県機関、市村、警察、畜産関係団体、国機関、防疫協定団体等
- ◇ テーマ：宮古地域における関係機関との防疫体制の強化



【八重山家畜保健衛生所】

■ 八重山地域特定家畜伝染病防疫演習（令和6年1月26日）

- ◇ 参加者：県機関、市町、生産者団体等、関係団体、国機関、防疫協定団体等
- ◇ テーマ：埋却困難地における盛土式埋却槽設置実働演習及び机上演習

